



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場会社名 積水樹脂株式会社
 コード番号 4212 URL <http://www.sekisuijushi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 福井 彌一郎
 (氏名) 菊池 友幸

上場取引所 東
 TEL 06-6365-3204

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	14,225	7.1	1,671	13.6	1,704	20.0	911	27.1
25年3月期第1四半期	13,277	0.8	1,471	△5.5	1,420	△10.8	716	△14.1

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,431百万円 (82.4%) 25年3月期第1四半期 784百万円 (△20.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	20.50	—
25年3月期第1四半期	16.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	92,808	66,599	70.9
25年3月期	95,778	65,847	67.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 65,784百万円 25年3月期 65,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11.00	—	15.00	26.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 25年3月期期末配当金の内訳 普通配当11円 特別配当4円

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	7.6	3,400	6.9	3,500	3.8	2,000	4.7	45.01
通期	70,000	9.1	9,200	5.5	9,400	2.8	5,700	5.4	128.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料の3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	47,313,598 株	25年3月期	47,313,598 株
26年3月期1Q	2,878,942 株	25年3月期	2,876,053 株
26年3月期1Q	44,435,492 株	25年3月期1Q	44,449,037 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期のわが国経済は、政府による経済政策や金融政策により、企業収益や個人消費に改善の動きが見られるものの、円安の進行による原材料価格上昇や新興国の経済成長の鈍化が懸念されるなど、依然として不透明感の強い状況で推移いたしました。

このような経営環境下において、当社グループは、政府の緊急経済対策による公共投資予算の増額に対応するとともに、復興・防災対策に対応した新製品の開発に注力し、製品拡売に向けた諸施策を実施してまいりました。

当第1四半期の連結業績は、売上高は142億2千5百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は16億7千1百万円（前年同期比13.6%増）、経常利益は17億4百万円（前年同期比20.0%増）、四半期純利益は9億1千1百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

①都市環境関連事業分野

防音壁は、アルミ枠透明板の高い遮音性能と耐振動性能が評価され、北陸新幹線の金沢・長野間に採用されましたものの、高規格道路開通路線減少の影響等により売上減を余儀なくされました。交通安全製品は、路面標示材が生活道路における安全対策「ゾーン30」に採用され売上を伸ばしましたものの、太陽電池式LED表示板の受注減少の影響等により前年同期を下回る成績に終わりました。人工芝は、温度上昇抑制機能や緩衝マットを備えた「ドリームターフ」が顧客ニーズにマッチした製品の品揃え効果もあいまって、学校グラウンドやラグビー場向けに好調に売上を伸ばしました。人工木材は、耐候性・耐久性に優れた「スーパーオレンジウッド」が、住宅着工数の増加により建材メーカー向けに順調に推移しました。

この結果、都市環境関連事業の売上高は37億8千2百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は5億円（前年同期比15.4%増）となりました。

②街路・住建関連事業分野

歩行者用防護柵は、公共工事の発注増加を背景に「フレックスロープ」が通学路の歩行者安全対策に採用されるなど大きく売上伸長しました。また、高欄は、橋梁の長寿命化のための補修工事が増加する中、「ビューレイル」の施工性が評価され好調に推移しました。メッシュフェンスやめかくし塀は、マンションの着工数増加を背景に、デザイン性と施工性に優れた製品の品揃え強化や積極的な受注活動により大幅な売上増となりました。メタカラー建材は、大型商業施設の内装に採用されるなど堅調に推移しました。アルミ樹脂複合板は、車両内装材として高い品質が評価され新型鉄道車両に採用されるなど好調な伸びを示しました。

この結果、街路・住建関連事業の売上高は53億4千1百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は8億7千2百万円（前年同期比38.5%増）となりました。

③産業・生活関連事業分野

包材関連製品は、柔らかく使用後に廃棄しやすい「ゆうバンド」が環境に配慮した製品として評価され、順調に売上を伸ばしました。デジタルピッキングシステム製品は、積極的な提案営業が功を奏し、国内はもとより輸出向けに好調な伸びを示しました。一方、組立システムパイプ製品は、電気・精密機器関連メーカーの設備投資抑制の影響により前年同期を下回る成績に終わりました。自動車部品関連製品は、タイ王国における自動車生産台数増加を背景に大きく売上を伸ばしました。生活・緑関連製品は、厳しい価格競争の影響などにより売上減を余儀なくされました。

この結果、産業・生活関連事業の売上高は50億9千4百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は4億7千7百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

④その他事業

保険手数料収入は損害保険手数料の減少により低調に推移し、売上高は7百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は4百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ29億6千9百万円減少し928億8百万円となりました。主に、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ37億2千1百万円減少し26億299百万円となりました。主に、支払手形及び買掛金や未払法人税等が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ7億5千2百万円増加し66億599千9百万円となりました。主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。純資産から少数株主持分を控除した自己資本は65億784百万円となり、自己資本比率は70.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6億7百万円減少(3.0%減)し、194億3千5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益16億9千5百万円に加え、売上債権の減少等による資金増加の一方、たな卸資産の増加や仕入債務の減少、法人税等の支払を行ったこと等により1億2千3百万円の収入となりました(前年同期は6億1千9百万円の収入)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得等により1億5千8百万円の支出となりました(前年同期は2億4千1百万円の支出)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払等により6億6千9百万円の支出となりました(前年同期は6億7千9百万円の支出)。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月26日に公表しました「平成25年3月期 決算短信」における業績予想に変更はありません。なお、当社グループにおきましては、「経営ビジョン2020」の第2ステージとして、現在、新たな中期経営計画「JEX-2016 (Jushi-Expansion2016)」の策定に取り組んでおります。詳細につきましては、後日、その概要がまとまり次第公表してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,043	20,435
受取手形及び売掛金	28,256	25,312
商品及び製品	3,170	3,466
仕掛品	980	1,158
原材料及び貯蔵品	2,840	2,851
その他	3,174	3,009
貸倒引当金	△37	△37
流動資産合計	59,427	56,197
固定資産		
有形固定資産	15,561	15,555
無形固定資産	510	516
投資その他の資産		
その他	20,464	20,714
貸倒引当金	△186	△174
投資その他の資産合計	20,278	20,539
固定資産合計	36,350	36,611
資産合計	95,778	92,808
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,726	15,276
短期借入金	2,150	2,150
引当金	740	472
その他	6,793	4,832
流動負債合計	26,411	22,730
固定負債		
退職給付引当金	3,275	3,224
役員退職慰労引当金	30	31
その他	214	222
固定負債合計	3,519	3,478
負債合計	29,930	26,209

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,334	12,334
資本剰余金	13,189	13,189
利益剰余金	41,368	41,611
自己株式	△1,943	△1,947
株主資本合計	64,948	65,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	598	863
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△484	△266
その他の包括利益累計額合計	114	596
少数株主持分	784	814
純資産合計	65,847	66,599
負債純資産合計	95,778	92,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	13,277	14,225
売上原価	9,324	10,014
売上総利益	3,953	4,210
販売費及び一般管理費	2,482	2,539
営業利益	1,471	1,671
営業外収益		
受取配当金	56	63
その他	29	52
営業外収益合計	85	115
営業外費用		
支払利息	46	45
為替差損	65	22
その他	24	14
営業外費用合計	136	82
経常利益	1,420	1,704
特別損失		
減損損失	—	6
固定資産除売却損	4	2
投資有価証券評価損	35	—
特別損失合計	40	8
税金等調整前四半期純利益	1,379	1,695
法人税等	636	757
少数株主損益調整前四半期純利益	743	937
少数株主利益	26	26
四半期純利益	716	911

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	743	937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108	263
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	151	229
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	2
その他の包括利益合計	41	494
四半期包括利益	784	1,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	753	1,393
少数株主に係る四半期包括利益	31	38

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,379	1,695
減価償却費	296	277
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△308	△202
売上債権の増減額 (△は増加)	4,109	3,011
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△458	△428
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,996	△1,538
その他	△173	△513
小計	2,849	2,302
利息及び配当金の受取額	74	82
利息の支払額	△44	△43
法人税等の支払額	△2,258	△2,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	619	123
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△287	△201
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
短期貸付金の増減額 (△は増加)	50	50
その他	△1	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241	△158
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100	—
配当金の支払額	△569	△656
その他	△9	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△679	△669
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	96
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△238	△607
現金及び現金同等物の期首残高	21,583	20,043
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	92	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,437	19,435

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	都市環境 関連事業	街路・住建 関連事業	産業・生活 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,643	4,799	4,827	13,269	7	13,277
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	1	39	41	2	43
計	3,643	4,801	4,866	13,311	10	13,321
セグメント利益	433	630	591	1,655	4	1,659

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な
 内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,655
「その他」の区分の利益	4
全社費用(注)	△188
四半期連結損益計算書の営業利益	1,471

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに開発試験研究費の一部であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	都市環境 関連事業	街路・住建 関連事業	産業・生活 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,782	5,341	5,094	14,218	7	14,225
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	3	36	40	1	42
計	3,782	5,344	5,131	14,258	9	14,267
セグメント利益	500	872	477	1,851	4	1,855

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,851
「その他」の区分の利益	4
全社費用(注)	△184
四半期連結損益計算書の営業利益	1,671

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに開発試験研究費の一部であります。